

運営に関する計画

令和8年4月

大阪市立茨田西小学校

大阪府立 茨田西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合は 85.2%となり、目標を上回ることができた。引き続きいじめに対する基本認識の徹底を図り、否定的な「思わない」と回答する児童の割合を減らしていく。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率は 2.03%で前年度より減少することができなかった。各種相談機関と連携したりサポートルーム登校を促したりしたことで、サポートルームに登校できるようになった児童もいる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合は 33.3%にとどまった。引き続き、各種相談機関との連携を図り、改善へと促していく。
- 小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は87%で目標を下回った。課題を分析し、改善を行っていき、学校に楽しく登校できる学校づくりを目指して、全教職員で取り組んでいく。
- 小学校学力経年調査・児童アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は 87%と目標を上回った。引き続き児童の自己肯定感を高める声かけ、良さを認め合う活動を積極的に行っていく。
- 授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が年間授業日の50%以上を達成した。特に新しく学習用端末が導入されてからは90%以上で達成することができた。「学習用端末を使った学習が楽しい」と94%の児童が肯定的な回答をしているので、更なる活用率上昇を目指していく。
- 教員の時間外勤務時間上限基準1の年平均達成率を100%実施することができた。教員の意識改革やゆとりの日を行うことで、引き続き取り組んでいく。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和11年度における小学校学力経年調査において「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 令和11年度におけるいじめ対応に係る「振り返りチェックシート」において「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。
- 令和11年度における小学校学力経年調査において「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度における小学校学力経年調査において「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- 令和11年度における小学校学力経年調査において、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も0.05ポイント向上させる。
- 令和11年度における小学校学力経年調査において「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度における小学校学力経年調査において「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和11年度における教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪府立 茨田西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7 87%) ・いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。(R8 新設) ・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7 87%) 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童理解全体会を毎月行うことによって、全教職員で児童理解を深め、課題を抱える児童について共通理解を図る。また、学校行事や児童会活動を通して児童一人一人の力や考えを発揮し、自己有用感を高め、仲間と助け合いながら異学年交流する場を設ける。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめアンケートを每学期実施し、いじめの早期発見に努めるとともに、認知した事案については迅速かつ組織的に対処する。また、児童理解全体会でいじめの発見・指導の経過・事後の様子を報告し合い、共有するようにする。</p> <p>指標</p> <p>いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>年間計画に基づき人権教育を実践する。また、学級の実態に応じた「よさ見つけ」の活動などを通して、自らの良さに気づき(自尊感情)、一人一人の違い(個性)を認め合える態度を育成する。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
最終評価への改善点	

大阪府立 茨田西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7 85%) ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。(R8 新設) ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7 90%) 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業において、友だちとの間で話し合う機会を増やすことにより、主体的・対話的な活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりできる児童を育成する。教員の授業力向上を図るため、年間計画に従い各学年において1回以上、国語科を中心とした研究授業・討議会を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>誰一人取り残さない学力の向上を図るため、個々の力を把握し、誰もがよくわかる授業を目指した指導を工夫するとともに、国語科の指導法についての研修や授業研究を重ねる。また、個に応じたきめ細やかな指導や支援を行えるよう、各種サポーターの活用を工夫する。</p>	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】</p> <p>学習カードや資料の作成・共有を通して、全学年で児童が達成感を得られる授業づくりをし、進んで運動に取り組む児童の育成を図る。また、休み時間や放課後の運動場開放を行い、児童が運動やスポーツをする機会を多くもち、運動時間や運動量の増加を目指す。</p>	
<p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
最終評価への改善点

大阪府立 茨田西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。(R8 新設) ・教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。(R8 新設) 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6、教育 DX の推進】</p> <p>Sky MenuやGoogle classroomの活用法を教職員間で共有しながら、端末を効果的に活用できる単元やポイントを学年で精査し、設定していく。教科書のQRコードを読み取ったり、写真や動画撮影をしたりするなど、学年の実態に応じた活用を工夫し、スキルアップを目指す。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>案件の計画的な検討を行うことで会議時間を少しでも短縮できるよう努める。また、従来通りの学校行事でも、内容の精選を行うことで、それに伴う指導時間の軽減を図る。授業時間数や時程についても、検討することで、根本的な勤務時間の見直しを進める。</p> <p>指標</p> <p>教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、時間外勤務時間について、月 100 時間以上実施する教員をゼロにする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>最終目標への改善点</p>	